

コロナ禍が市政に与える影響／車での避難

吹春やすたか (自民党・信頼)
① コロナ禍に対して。(ア) いち早く対応すべきではなかったか。他市では、小金井市より早く手を打っている。臨時会も開かれず、スピード感が欠けた対応となつてしまったのではないかと。新庁舎建設が市の財政に影響を与えないか。

市長 (ア) 対策の予算の上程だけ早め、スピード感だけを意識していたら臨時会を開催できたかもしれないが、内容も併せて必要と考えている。今後とも、議員ご指摘のスピード感も意識して取り組んでいきたい。



熊本地震での校庭画像 (一社) Smart Supply VisionのHPより



打撃を受けると考えているが、この件については進めていきたい。

② 車で避難することについて、繰り返し訴えてきた。避難所の在り方について、今、本格的に考えるべき時に来たのではないかと。部長 駐車スペースや誘導などの課題があり、整理する必要があると考える。

特別支援学級スクールバスにも合理的配慮を

鈴木成夫 (みらい)
(ア) 特別支援学級スクールバスの利用を小学校3年生までに制限している理由は、(イ) 在籍校以外の学童保育所利用や学年制限についてのニーズ調査を行わないか。(ウ) 4年生以降の児童にも合理的配慮提供の観点から、組織として協議しないか。

部長 (ア) 4年生以降の児童には自力通学を目標として、生活上の困難を主体的に改善、克服し自立することを目指し、目的としているためである。(イ) 次年度のスクールバス希望意向調査と併せて実態調査を行っていききたい。(ウ) 保護者との建設的な対話を通し、その子



特別支援学級在籍児童にも登下校の安全確保の視点が必要



のより良い教育環境を整えるために相互理解を図る必要がある、利用の選択肢の提供も含めて検討する。教育長 (ウ) 常に当該児童が今、身につけておくべき能力等を見極め、どのような合理的配慮が必要かを、保護者や専門家と協議するとともに、子どもの声にも耳を傾け、検討していく。

感染症対応から見た情報発信・災害対応

小林正樹 (公明党)
① この間、ネット環境のない高齢者世帯や、外国籍の方、耳や視力の不自由な方などに対して、様々な重要な情報が届かないことがあり、対策が求められる。防災ラジオを普及し、行政からの情報を流さないか。

部長 関係課と調整し、考えていきたい。

② 風水害の季節を前に、新型コロナウイルス感染症拡大と自然災害の発生が重なる「複合災害」への早急な備えが自治体に求められる。(ア) 避難体制、避難所の感染対策など点検・確認の抜本的見直しを。(イ) 備品リストの見直しを。(ウ) 7年振りに



なぜ早期竣工が望まれているのか

沖浦あつし (みらい)
新庁舎(仮称)新福祉会館建設について。(ア) 現在、市役所第二庁舎は27年間賃借し、その借上料だけで総額62億円、今年度の借上料は約2億2千万円で間違いはないか。(イ) 何十年も賃貸舎の問題を解決できず、図書館等の施設の老朽化問題に手が回せず、まづぐりは他市と比べ遅れてきた。

議長では、コロナ禍のため事業を凍結せよという声があるが、一日当たり60万円かかる借上料は、新庁舎を建てない限りかかり続ける。時間が経てば経つほど費用が膨らみ、市民の理解は得られない。基本設計案に対



して一番多かった「ひろば」への声には、実施設計段階で検討してもらうべきである。早期竣工実現への姿勢を市民に伝えるべき。部長 (ア) 間違いはない。市長 (イ) 新型コロナウイルス対策を行う状況下にあることも、この事業は止めることにはならないと考える。「ひろば」への要望は実施設計において検討を行う。事業を確実に進め、課題に対応していくことが、長期的視点に立った行政運営であると考えている。

不登校の概念を無くす新しい取組を

宮下 誠 (公明党)
緊急事態宣言の下、小・中・高で臨時休校が続いたが、今回の対応は不登校の概念を無くすきっかけになる新しい可能性を開くチャンスになると思う。子供や保護者の要望は、オンライン学習そのものよりも、学校や担任とのつながりである。子供一人一人にIDを付与して丁寧な指導を行わないか。また、児童・生徒がどこにいても公平に教育や指導を受けられる環境を整えていただきたい。

部長 小金井市では、Chromebookを活用する。このシステムでは、児童・生徒が一人一人IDを取得し、個別にデータを保存したり、学級のみならずデータを共有したりできる。また、意見交換や課題のやり取りをするだけでなく、各自が習熟度に合わせた練習問題に取り組みなど、個別最適化学習を推進できる。そして、オンラインの活用は、子どもたちに学ぶ場を提供し、自主的に学ぶ意欲を高めるための手段の一つとして非常に有効であると考える。特に、不登校の児童・生徒に対しては、学校とつながりを持ち、学習に取り組むための良ききっかけになると考える。教育委員会として、オンライン授業・学習について、今後も研究していきたい。



市内の繋がり消費を促進する仕組みを

白井 亨 (こがおも)
緊急事態宣言によって、現役世代の市内滞在時間が増え、市内の店を利用するきっかけも増えた。(ア) データによると、4月は通勤者は8割減った。捉え方によっては4万人ほど平日昼間に市内で消費活動をする人が増えたことになり、どのように捉えているか。(イ) 今年度策定予定の産業振興プランに、テレワークの推進などの要素を入れてはどうか。(ウ) 今こそ、商品券など、市内の消費活動を刺激する政策が必要ではないか。

部長 (ア) 地域発見のような事象が発生していること、在宅勤務は今後も一定の定



テレワーク、飲食店のテイクアウトが新しい日常に



着が想定でき、前向きに捉える要素があると考えている。(イ) 新しい産業振興プランには、テレワークの推進を始め、新しい生活様式などを起点とした地域活性化策などの視点は必須であると認識している。(ウ) 関係団体と連携し、小金井らしく効果的なことに取り組んでいく必要がある。

コロナ危機から市民生活を守るために

紀 由紀子 (公明党)
① 最初に、新型コロナウイルス対策のため、尽力頂いた皆様に感謝申し上げる。② 家賃の支払いに困っている人も多い。住宅確保給付金について、4月20日から離職者に加え、やむを得ない休業等によって収入を得る機会が減少した方も対象、4月30日からハローワークへの求職の申込みも当分の間不要、都営住宅の人も利用可能である等、支給対象者拡大の更なる周知を。部長 市報への掲載と各課連携により、制度の周知を図っていただきたい。

③ 図書館に本の消毒機を設置しないか、平成29年第



1 回定例会でも質問したが、再度問う。なお、西東京市は全館設置予定である。設置場所が2か所ということだが、全館設置の再検討を。部長 2館に設置するが、他の館の設置については改めて検討したい。

義務教育の保護者負担軽減／市の広報改善を

水谷たかこ (こがおも)
① 他市では、教材費の負担軽減を研究しているところもあるが、本市ではどうか。(イ) 中学校の標準服は強制するものではないという理解でよいのか。(ウ) 市に標準服リサイクルのコーディネートなどを期待したい。(エ) PTA会費等を就学援助の対象にしないか。(オ) 総括して教育長の考えは。

部長 (ア) 規則に基づき、負担を考慮し、教材を選定している。(イ) 着用を強制するものではない。(ウ) 行政の役割を研究したい。(エ) 他市の動向を注視して考えたい。教育長 (オ) 学校だけの取組では改善は難しく、中学



校のコミュニケーション導入に向けて検討したい。

十分である。イベントを所管する部署等にはアカウント取得を促したい。(エ) 広報掲示板を活用した。多言語発信、やさしい日本語の発信については、研究したい。部長 (ウ) 検討中である。